

年間授業計画

第四商業高等学校（2学年用）

教科： **ビジネス** 科目 **ビジネスアイデア** 単位数： **3** 単位
 ◆対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組
 ◆使用教科書：（ なし ）
 ◆教科： **ビジネス** の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目 **ビジネスアイデア** の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①基本的なアイデア出しの技法を理解し、活用することができる。 ②正しい表現や工夫をして相手にわかりやすく伝えることができる。 （プレゼンテーション能力） ③商品開発プロセスを理解し、グループで実践できる。また、資料にまとめて発表できる。	①社会で起こっていることを把握し、社会へ与える影響を考え、判断して自らの言葉で表現することができる。 ②社会問題に対する理解を深め、問題点や解決策を考えることができる。 ③商品開発に関して、具体的な根拠（数値データ等）を示すことができる。	グループワークを通して、積極的に意見を述べることや提案すること、仲間と協力することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当
1 学期	ビジネス活動に必要な知識と技術の習得 【知識及び技能】 ビジネス活動に必要な知識と技術に関する知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識技能を活用し、インターネットや新聞からのインプットにより、社会的問題に対する思考・判断力をもち、自らの考えを表現する能力を育てる。 【学びに向かう力、人間性等】 意見を積極的に発言できる。	1年次に学習したビジネス基礎の復習をしながら、ものとサービスや社会的課題、商品開発における課題などを考察させる。	【知識・技能】 ビジネス活動に必要な知識と技能が習得できているか。 【思考・判断・表現】 習得した知識と技能を生かし、インプットした情報に対する自らの考えを表現発信することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 アイデアを積極的に発言し、グループ活動に貢献できる。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	プレゼンテーション 【知識及び技能】 プレゼンテーションの種類や技法を理解する。プレゼンテーションソフトウェアを操作し、適切な資料を作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えをまとめ、相手に伝わりやすい工夫をしてプレゼンテーションをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を活用し、プレゼンテーションができる。	・原稿作成について（三段論法） ・話し方の基本や効果的な話し方 ・PowerPointの操作 ・プレゼンテーションに向けての準備	【知識・技能】 序論・本論・結論について理解できている。（原稿作り） PowerPointが操作できる。 【思考・判断・表現】 適切な表現でプレゼンテーションの原稿を作成できる。 発問などの工夫をしてプレゼンテーションができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 計画的にプレゼンテーションの準備をし、実施できる。	○	○	○	10
2 学期	A 連携企業に関する基礎知識 【知識及び技能】 連携企業に関する社会問題に関する知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題の解決に向け、自分の意見をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら社会問題に興味をもち、調査できる。	・連携企業からの新製品開発のための知識のインプット ・インプットした知識から企業の抱える社会的問題の定義 ・社会的問題の解決策に必要なフレームワークによる問題解決技術の習得	【知識・技能】 ・携企業の新製品開発のための商品に対する知識や社会的問題を理解できている。 ・SDGsについて理解できている。 【思考・判断・表現】 連携企業からの課題への解決策やSDGsとの関連について考え、自分のアイデアを文章化できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題について積極的に調査することができる。				13
	B 商品開発 【知識及び技能】 プランニングの技法について理解し、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 アイデア出しやSTP分析など1学期の知識を活用し、商品開発を行うことができる。適切に資料を作成し、アイデアを他人に発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力して取り組むことができる。計画的に発表準備を行う。	・先行事例調査 ・ターゲティング ・ビジネスモデル（収支計画など） ・商品開発に関するプレゼンテーション	【知識・技能】 商品開発における基礎的な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 自らのアイデアについて具体的な根拠を示し企画することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動において自分の役割を把握し、作業することができる。				17
	期末考査			○	○		1
3 学期	A 商品開発 【知識及び技能】 プランニングの技法について理解し、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 アイデア出しやSTP分析など1学期の知識を活用し、商品開発を行うことができる。適切に資料を作成し、アイデアを他人に発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 グループで協力して取り組むことができる。計画的に発表準備を行う。	新製品開発のために必要な情報や知識をフレームワーク等を活用し問題解決につなげる	【知識・技能】 商品開発における基礎的な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 自らのアイデアについて具体的な根拠を示し企画することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動において自分の役割を把握し、作業することができる。				11
	B レポート作成 【知識及び技能】 インターネットを適切に使用し、調査することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既存商品に関するマーケティングを考え、自分の意見をまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世の中の商品やサービスに興味をもち、積極的に調査することができる。	・身近にある商品について、ターゲティングや広告などを調査し、まとめる。	【知識・技能】 商品開発における基礎的な知識を理解している。 【思考・判断・表現】 自らのアイデアについて具体的な根拠を示し企画することができる。 調査したことをまとめ、自分の考えをらまえて文章化できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動において、自分の役割を把握し、作業することができる。レポートなど計画的に進め提出できる。				10

合計

73